社会資本総合整備計画　　事後評価書

計画の名称	川南町における『循環のみち下水道』の持続と進化（防災・安全）												
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)									重点配分対象の該当			
交付対象	川南町												
計画の目標	・下水道の使命、機能およびサービスの目標水準を適正なマネジメントにより「持続」させることを目指す。 ・下水道が有する汚水の収集・処理・雨水の排除といった機能を平常時はもとより、大規模災害時においても強くしなやかに発揮し、持続的に提供することを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	30	A	30	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30末	R04末	R06末
1	管路のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率を0%（H30）から100%（R06）に増加させる。			
	管路のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率 ［ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施済み延長 ／ ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施すべき延長］	0%	46%	100%
2	施設のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率を0%（H30）から71%（R06）に増加させる。			
	施設のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率 ［ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施済み箇所 ／ ストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施すべき箇所］	0%	29%	71%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	川南町	直接	川南町	管渠（汚水）	改築	川南地区　管渠施設（ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ）	圧送管L=1.05㎞、ﾏﾝﾎｰﾙ及び蓋N=10箇所	川南町			■			4		策定済
		ストマネ																	
	A07-002	下水道	一般	川南町	直接	川南町	管渠（雨水）	改築	川南地区　管渠施設（ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ）	雨水幹線L=1.23㎞	川南町				■		8		策定済
		ストマネ																	
	A07-003	下水道	一般	川南町	直接	川南町	終末処理場	改築	川南浄化センター　汚泥処理施設（ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ）	主ポンプ設備、汚泥脱水設備、機械式ｴｱﾚｰｼｮﾝ設備、最終沈殿池設備	川南町		■	■	■	■	18		策定済
		ストマネ																	
											小計						30		
											合計						30		

案件番号：

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
川南町上下水道課	令和８年度
	公表の方法
	川南町ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	計画期間内において、当該事業への交付金の充当が無かった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

ストックマネジメント計画に基づく維持管理に取り組む。

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	管路のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率		
	最　終 目標値	100%	交付金を活用した事業を実施しなかったため。
	最　終 実績値	0%	
2	施設のストックマネジメント計画に基づく長寿命化対策実施率		
	最　終 目標値	71%	交付金を活用した事業を実施しなかったため。
	最　終 実績値	0%	

案件番号：